

平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年12月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
 コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田 泰夫
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長（氏名） 追川 正義（TEL）03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年8月期第1四半期の業績（平成26年9月1日～平成26年11月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	3,535	2.4	△106	—	△116	—	△82	—
26年8月期第1四半期	3,452	10.3	△84	—	△93	—	△67	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年8月期第1四半期	△32.79		—					
26年8月期第1四半期	△26.82		—					

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第1四半期	10,524	2,055	19.2
26年8月期	8,779	2,174	24.4
（参考）自己資本	27年8月期第1四半期 2,026百万円	26年8月期 2,149百万円	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年8月期の業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,905	7.1	311	△11.5	294	△12.2	153	△8.4	60.52
通期	18,869	9.6	525	17.8	490	19.0	252	25.3	99.96

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年8月期1Q	2,530,000株	26年8月期	2,530,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年8月期1Q	—株	26年8月期	—株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年8月期1Q	2,530,000株	26年8月期1Q	2,530,000株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心に企業業績が回復基調で推移したものの、消費税増税や円安による輸入品価格の上昇を背景に、個人消費は低調に推移しております。

このような状況下で、当社は、お客様に感動を与えるプレゼント選びの場を提供する「アニバーサリーコンセプトショップ」という独自のサービスを基本とし、贈る人のときめき感につながるような魅力ある商品の拡充と商品鮮度の管理徹底に努めるとともに、お客様が何度でも足を運びたいくなるような質の高い「おもてなしの接客」に努めてまいりました。

商品施策といたしましては、粗利率向上と客数増加に向けた取り組みとして、値ごろ感のある価格帯の商品や販売の好調なブランドの強化を図ってまいりました。また、宝飾品を中心とした当社のオリジナルブランド商品（ハッピーキャンドル）については、クリスマス商戦に向けて雑誌掲載等による広告宣伝を強化するとともに、新作カタログの制作や販売キャンペーンの実施を通じてブランド強化に努めてまいりました。

販売活動の施策といたしましては、5店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールや創業25周年記念セール等の販促活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客作りを図ってまいりました。

店舗展開といたしましては、10月に福岡店（福岡県）、京都桂川店（京都府）、木更津店（千葉県）、和泉店（大阪府）、11月に桶川店（埼玉県）の計5店舗を新規出店いたしました。和泉店は、当社オリジナルブランド商品（ハッピーキャンドル）主体の新業態店となっております。これらにより、当第1四半期末の店舗数は64店舗となりました。また、岡崎店（愛知県）及び富津店（千葉県）の改装を行いました。これら新規に5店舗の出店と大型改装が集中したこと等で、販売費及び一般管理費は増加いたしました。

商品部門別の売上の状況については、宝飾品は催事等による販売強化の取り組みに一定の成果がみられたものの力強い回復までには至らず売上高575,951千円（前第1四半期累計期間比2.2%増）、時計は一部の高額ブランド時計の販売が好調だったこともあり売上高973,191千円（同7.3%増）、バッグ・小物等は中価格帯の商品が伸び悩み売上高1,986,801千円（同0.1%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3,535,944千円（前第1四半期累計期間比2.4%増）、営業損失106,749千円（前第1四半期累計期間営業損失84,895千円）、経常損失116,600千円（同経常損失93,470千円）、四半期純損失82,980千円（同純損失67,874千円）となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,597,047千円となり、前事業年度末と比較して1,612,349千円増加しております。これは主として、12月商戦に向けた商品確保により商品が1,264,966千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,927,620千円となり、前事業年度末と比較して132,677千円増加しております。これは主として、新規出店のため、建物が83,113千円、工具、器具及び備品が31,997千円、敷金及び保証金が20,085千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,512,753千円となり、前事業年度末と比較して1,280,876千円増加しております。これは主として、12月商戦に向けた商品確保により支払手形及び買掛金が1,133,208千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,956,886千円となり、前事業年度末と比較して583,961千円増加しております。これは主として、新規借入れにより長期借入金が517,564千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、2,055,028千円となり、前事業年度末と比較して119,811千円減少しております。これは主として、配当金の支払いや四半期純損失の計上により利益剰余金が120,930千円減少したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月14日に公表いたしました平成27年8月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,310,927	2,459,368
売掛金	1,132,052	1,201,408
商品	3,331,486	4,596,453
貯蔵品	92,243	100,819
その他	117,988	238,997
流動資産合計	6,984,697	8,597,047
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	572,149	655,262
構築物(純額)	35	33
工具、器具及び備品(純額)	297,104	329,102
リース資産(純額)	29,733	27,548
建設仮勘定	3,098	-
有形固定資産合計	902,121	1,011,947
無形固定資産		
リース資産	16,224	14,253
その他	11,690	10,666
無形固定資産合計	27,914	24,920
投資その他の資産		
関係会社株式	88,159	88,159
敷金及び保証金	505,118	525,204
その他	292,356	297,966
貸倒引当金	△2,036	△1,886
投資損失引当金	△18,690	△18,690
投資その他の資産合計	864,907	890,753
固定資産合計	1,794,943	1,927,620
資産合計	8,779,641	10,524,668

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,216,421	2,349,629
1年内返済予定の長期借入金	1,431,204	1,609,506
1年内償還予定の社債	70,000	20,000
未払法人税等	79,374	6,354
賞与引当金	65,248	101,900
その他	369,629	425,364
流動負債合計	3,231,877	4,512,753
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	2,952,585	3,470,149
資産除去債務	76,875	81,645
その他	313,463	385,091
固定負債合計	3,372,924	3,956,886
負債合計	6,604,801	8,469,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,530	324,530
資本剰余金	311,880	311,880
利益剰余金	1,510,944	1,390,013
株主資本合計	2,147,354	2,026,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,564	△264
評価・換算差額等合計	2,564	△264
新株予約権	24,920	28,870
純資産合計	2,174,839	2,055,028
負債純資産合計	8,779,641	10,524,668

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	3,452,588	3,535,944
売上原価	2,634,218	2,675,975
売上総利益	818,370	859,968
販売費及び一般管理費	903,265	966,717
営業損失(△)	△84,895	△106,749
営業外収益		
受取利息	397	409
受取配当金	181	197
業務受託料	953	372
受取保険金	1,361	-
その他	535	424
営業外収益合計	3,429	1,404
営業外費用		
支払利息	10,624	10,820
その他	1,380	435
営業外費用合計	12,005	11,255
経常損失(△)	△93,470	△116,600
特別損失		
固定資産廃棄損	3,013	-
事業譲渡損	2,740	-
特別損失合計	5,754	-
税引前四半期純損失(△)	△99,224	△116,600
法人税、住民税及び事業税	3,387	4,090
法人税等調整額	△34,737	△37,709
法人税等合計	△31,350	△33,619
四半期純損失(△)	△67,874	△82,980

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。